

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型障がい児通所支援事業所しおさいキッズ		
○保護者評価実施期間	令和7年3月1日 ～ 令和7年3月31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 5名	(回答者数)	5名
○従業者評価実施期間	令和7年3月1日 ～ 令和7年3月31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画の作成	こどもの興味関心や今できていることを伸ばす視点で作成している。	移行の視点をもった個別支援計画の充実を図る。
2	共感的な支援	こどもに寄り添い、保護者の良き相談相手となれるよう傾聴を心がけている。	こどもの生活の質を向上させるとともに、家族全体の生活の質が向上することも含めた支援を行う。
3	相談対応	相談内容に対して、すぐに断らない、判断しない。	こどもにとって、家族にとって最善な対応ができるよう、利用者主体で物事を考えることができる支援者育成を図る。

	事業所の弱み（※）だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者やきょうだい向けの交流機会	保護者が時間を割いてまで交流したいと思える提案内容がない。	事業所移転後にペアレントトレーニングを実施し、保護者間の交流やきょうだい児も含めたイベントを企画する。
2	家族への研修会や情報提供の機会	研修を企画、実施するまでの支援者の時間的余裕やスキルがない。	外部の家族向け研修の情報提供を行う。
3	生活空間の設備やスペース	物理的に狭い。	事業所移転により、設備及びスペースの改善が図れる。